



平成 24 年 8 月 16 日

南城市長
古 謝 景 春 殿

糸 満 市 長 上原 裕 希



豊見城市長 宜保 晴 毅



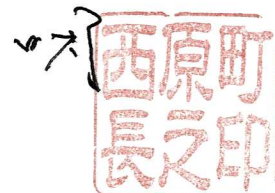
八重瀬町長 比屋根 方 次



与那原町長 古 塾 國 雄



西 原 町 長 上 原 一 夫



南城市に続く次期建設候補地の「輪番制」について

現代社会において生産・消費・廃棄は、住民にとって欠くことのできない生活スタイルであり、健康で文化的な生活を営む上で大変重要なサイクルです。

最終処分場を保有していない南部は、焼却残渣等処理するための最終処分場建設計画と三清掃施設を基幹改良期に一元化を目指す計画を推進し、サザン協を中心に6市町が共同責任のもと鋭意取り組んでいます。

6市町の共同事業である最終処分場の建設地については、公平に負担する輪番制の理念が幹事会の協議を経て理事会で決定したところです。

実施にあたっては、基幹改良期を迎える島尻環境美化センターが在る南城市を皮切りに輪番制がスタートします。

履行にあたっての公平性は勿論、お互い痛みを分かち合う観点から南城市に続く次期建設地は、5市町(糸満市、豊見城市、八重瀬町、与那原町、西原町)の内から候補地を選定し共同責任で取り組みます。